



2022-23 年度テーマ

第 2670 地区

宿毛ロータリークラブ会報



| | |
|-----------|-------|
| ■会長 | 有田 裕彦 |
| ■幹事 | 池 和明 |
| ■SAA | 田淵 満博 |
| ■クラブ奉仕委員長 | 岡崎 利久 |
| ■職業奉仕委員長 | 岡崎 利久 |
| ■社会奉仕委員長 | 西田 教世 |
| ■国際奉仕委員長 | 秋澤 誠 |
| ■青少年奉仕委員長 | 西岡 弘徳 |

■例会日：毎週木曜日 12:30~13:30
 ■例会場：宿毛市幸町 秋沢ホテル
 ■事務所
 〒788-0003 高知県宿毛市幸町 6-43
 TEL 0880-63-3416 FAX 0880-63-3417
 URL sukumorc-test.m-quartz.com
 E-Mail sukumorc@mb.gallery.ne.jp

例会報告 第2774回 令和4年2月9日（木曜日） 天気：晴

■例会司会：高瀬副 SAA
 ■開会点鐘：有田会長
 ■Rソング：奉仕の理想
 ■お客様：

四つのテスト 言行はこれらに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

■会長報告 有田会長

皆さんこんにちは。3年ぶりの IM の開催があります。会長報告です。もうすぐバレンタインです。僕はショコラティエです。数年前に失恋ショコラティエというドラマがあり、当時この辺で出来るのが僕だけで、今では沢山の人ができると思います。本物のチョコは必ずテンパリングが必要です。本日妻からですが、皆さんにチョコがあります。

■幹事報告 西岡副幹事

■ガバナー事務所より：

- ・地区チーム研修セミナー（DTTS）開催のご案内
- ・メルボルン国際大会のご案内と登録のお願い
- ・第 21 回ロータリー全国囲碁大会のご案内

■ロータリーの友事務所：

- ・2023-2024 年度 ロータリー手帳お買い上げのお願い

欠席届 12名

■プログラム 高瀬会員

岡崎会員 卓話

皆さん、こんにちは。

只今より卓話を始めさせていただきます。宜しくお願い致します。

テーマについてですが、今年 11 月に実施されます、宿毛市長選挙に出馬するにあたり私自身の思いを述べさせて頂こうと思います。

令和 5 年 2 月 9 日現在の考え方ですので、これから地域を回る中で様々なご意見を聞く事で内容が変わることがあると思いますがご了承頂きたいと思っております。

1 つ目に、災害に強い街づくりを進めて行きます。

現在、希望ヶ丘に市役所庁舎ができました。希望ヶ丘保育園もできました。ここ数年の間に、警察署・幡多土木事務所・海上保安庁が建設されます。また市役所庁舎より東側の山を造成して、大島小学校・咸陽小学校・片島中学校を統合する形で小中学校が令和 13 年度に開校予定となっています。また、市役所庁舎の北側に高規格道路が通る予定になっていますので、その点を含めまして市役所庁舎周辺の整備をしていきます。

次に、事前復興という考え方があります。

この考え方は、東日本大震災の教訓を踏まえて、南海トラフ地震による被災後であっても、市民が早期に生活を再建し希望を持って地域に住み続けることができるように、事前に復興まちづくりの準備を進めることです。本市でも高知県の指導のもと事前復興まちづくり計画を策定するようになっています。津波が発生をしますと本市では多くの地域で浸水します。どこの地域から策定をはじめていくのかが今後の課題になると思いますが、一日でも早い事前復興まちづくり計画を策定していきたいと思っております。

次に、仮設住宅用地の確保・整備をしていきたいと思っております。

南海トラフ地震が発生をしますと最悪の場合、津波が発生をして、市内多くの地域で長期浸水します。今まで住んでいた住宅は最悪の場合流されたり、火災が発生したりして浸水後生活出来る環境ではなくなる可能性が多くあります。新しく住宅を建てる間また生活が再建できるまで一時的に住める仮設住宅の建設を進めなければなりません、現状として被災された住民が入居することができる仮設住宅を建設する土地が本市にはありません。だから近隣市町村にお願いをして受け入れをして頂くようにしていま

す。
 東日本大震災でもそうですが、一度地元を離れた住民は地元に帰ることがなく、その地域で住み続けることになる可能性があります。出来れば近隣市町村との連携も必要ですが、本市として仮設住宅用地について本市住民の全てが入居可能な仮設住宅用地の確保と整備をしたいと思っております。

2 つ目に人口減少対策についてであります。

現在、国が少子化対策として色々な施策を掲げています。

国においてして頂けることに関しては国でして頂いて本市で出来ることを考えていきたいと思っております。

私が考える少子化対策は、まずは結婚して頂かないと子供は増えて行かないと言うことです。すごく当たり前の話ですが。

以前でしたら世話好きな方がおられて紹介をしてとか、友達の紹介でとか色々な方法により結婚がされてきたと思っております。

最近では、コロナの影響があるかもしれませんが、婚活イベントとか友達の紹介とかも減っていて、結婚をしたくても出来ない方がいるように思います。中には経済的理由で結婚しない方もいらっしゃると思いますが、結婚した方が結婚できるような取り組みを本市がすること自体がどうかと思われる方も多くいらっしゃると思いますが、新たに仮称ではありますが、結婚相談室を創設して行きたいと思っております。

空き家等の利活用について。

令和 2 年 3 月に策定された宿毛市空き家等対策計画では、宿毛市全体における空き家等総数は、1238 件。空き家等率は 6.7% となっています。

老朽度・危険度ランクごとを言いますと、

A ランク 目立った損傷が認められない物件は、827 件。

B ランク 危険な損傷は認められない物件は、220 件。

C ランク 部分的に危険な損傷が認められる物件は、84 件。

D ランク 建築物全体に危険な損傷が認められ放置すれば倒壊の危険性が高まると考えられる物件は、33 件。

E ランク 建築物全体に危険な損傷が激しく倒壊の危険性が考えられる物件は、61 件となっています。

先程説明しました。D.E ランクの物件については利活用が難しいと思っております。

だから A.B.C ランクの物件については、不動産業者。建築業者。設計業者がタッグを組む形で、各々の物件については、所有者に、売却するのか？貸すのか？意向を聞かなければなりません、少しでも多くの空き家を減らして行きたいと思っております。

■ニコニコ

無し

■出席報告

60.87%